

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和4年6月17日同時配布

令和4年6月17日
国土技術政策総合研究所

国総研の研究者らが「土木学会賞田中賞（論文部門）」 を受賞しました ～橋全体としての耐荷性能に着目した復旧方策を考案～

国総研では、熊本地震で発生した被害の復旧にあたって、現場に熊本地震復旧対策研究室を設置し、令和4年3月まで復旧支援活動等に取り組んできました。

この度、おおきりはたおほし大切畑大橋の復旧についてとりまとめた論文が「令和3年度土木学会賞 田中賞（論文部門）」を受賞しました。

平成28年熊本地震で被災した県道等の一部区間は、国土交通省が権限代行事業として復旧工事を実施することとなり、国総研は現地に研究室を設置し、復旧工法の検討に当たって高度専門技術を要する課題に対し支援を行ってきました。その区間の一部である俵山トンネルルートに位置する^{おおきりはたおほし}大切畑大橋は、熊本地震の影響により下部構造や支承部に損傷が生じただけでなく、上部構造を構成している重要な部材である主桁や床版にも損傷が及びました。復旧においては、損傷が生じた個々の部材毎に修復するという部材に着目した従来の耐荷性能の回復ではなく、損傷した部材が有する耐荷力の不確実性を考慮しつつ橋全体としての耐荷性能を回復させるという復旧戦略が採り入れられています。この度受賞した論文では、その復旧戦略を具現化するために考案した方策についてとりまとめています。

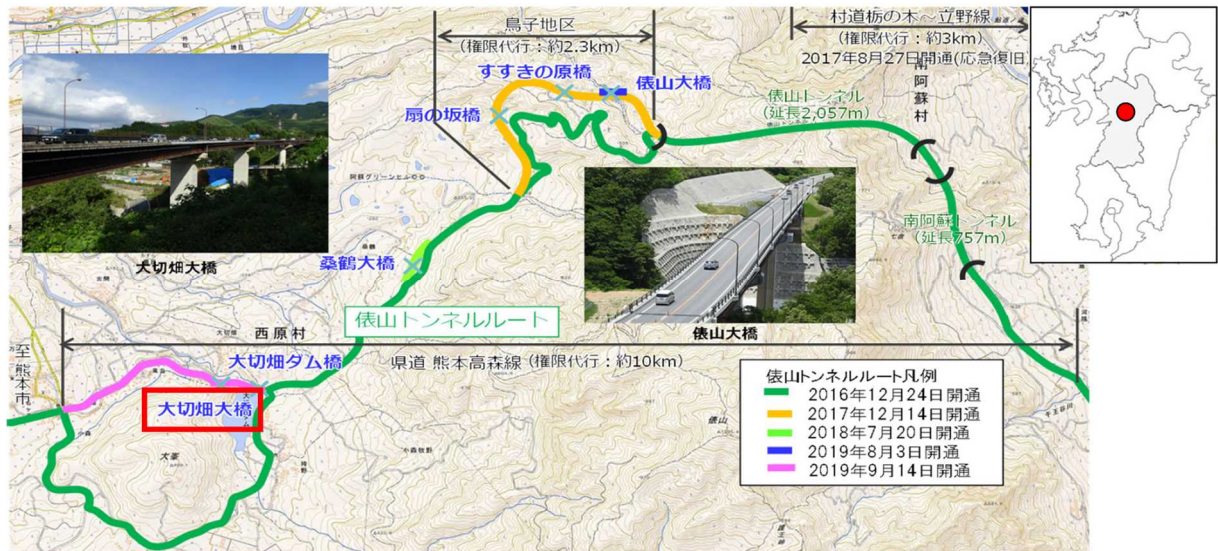
受賞論文 熊本地震で被災した鋼鉄桁連続橋に対する耐荷性能の挽回方策の考案と設計上の配慮
(土木学会論文集 A1 (構造・地震工学) 2021年 77巻 2号 p. 304-318)

受賞者 宮原 史 (国土技術政策総合研究所)
今村隆浩 (元九州地方整備局)
西田秀明 (国土技術政策総合研究所)
星隈順一 (元国土技術政策総合研究所, 現土木研究所)

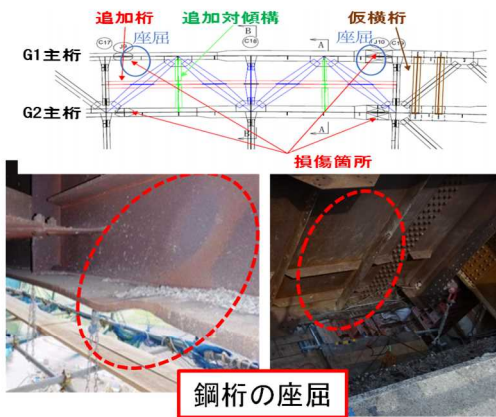
<参考情報>

- 令和3年度土木学会賞受賞一覧 (土木学会 HP)
https://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2021.shtml
田中賞は昭和41年度より橋梁・鋼構造工学に関する優秀な業績に対して授与されている賞です。
- 国総研資料第1189号 熊本地震復旧対策研究室5年の歩み
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1189.htm>
国総研の現場での復旧支援活動を取りまとめたものです。

(問い合わせ先) 国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 宮原 史
TEL: 029-864-2674 E-mail: miyahara-f852a@mlit.go.jp



大切畑大橋の位置図



大切畑大橋の復旧(残留変形が生じた主桁をあえて残置したうえで新たに縦桁や対傾構を追加設置)



復旧が完了した大切畑大橋
 (令和元年9月14日)



表彰式の様子 ※左から3人目が国総研の受賞者
 (令和4年6月10日)